



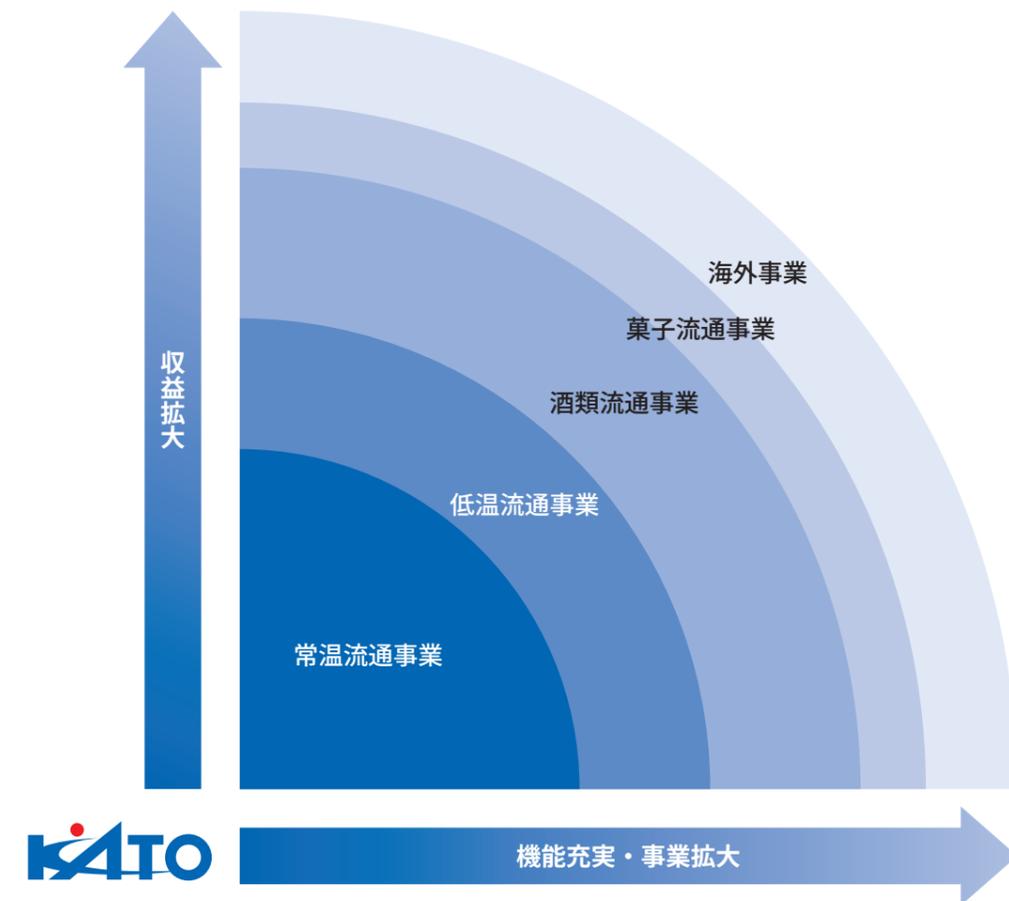
加藤産業グループ

連結営業収益／親会社株主に帰属する当期純利益

1兆2,142億円 / 132億円
(2025年9月期)

当社設立以降、常温流通事業を基盤としながら、自社ブランド商品の製造・低温事業・酒類事業へ、カテゴリーを拡大してきました。近年では、菓子事業の展開にも注力しています。さらに、日本国内の人口減少が進むなか、海外事業の強化を図っています。また、物流事業や食品製造業を担う関係会社により、グループ全体の機能を高めています。

当社グループではダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。グループミッション・ビジョンに基づき、各社が有する多様な能力と機能を最大限に発揮することで、グループ全体の成長を目指していきます。



常温流通事業 (菓子流通事業含む)

加藤産業(株) 加藤菓子ホールディングス(株) カトー菓子(株) (株)植嶋

営業収益: **7,417億円**

当社は、家庭用食品をはじめとする常温流通事業を主力としています。「店舗に行けば商品がある」という日常的な風景を通じて、生活者の皆様に安心感を与えられる企業であり続けるために、小売業・メーカーを含めた食品流通が機能するための1つの柱として、その役割を果たしています。



低温流通事業 ケイ低温フーズ(株)

営業収益: **1,178億円**

低温事業に特化したケイ低温フーズでは、冷凍食品をはじめ、チルド・日配食品・総菜部門などの分野で、近畿圏及び首都圏にて低温流通サービスを提供しています。生活者のライフスタイル、食に対する安全・安心への意識の変化から、低温食品及びフードサービス分野における中間流通業の役割は一層重要性が増すなか、専門卸売業としてサービスレベルの向上を図っています。

酒類流通事業 三陽物産(株) ヤタニ酒販(株)

営業収益: **2,546億円**

ヤタニ酒販では、近畿地区を基盤に、ビール・清酒・焼酎・洋酒など全酒類を取り扱っています。また、三陽物産では、「酒のプロフェッショナル」として、常に生活者の目線で、高品質な商品・多様な飲用シーンを提案し続けています。両社を両輪として、酒類流通事業を展開しています。

海外事業

営業収益: **957億円**

当社グループは、独立した存在感のある卸売業としての企業規模を確立するとともに、次代の成長を見据えて一層の機能強化を図るため、特に経済成長に伴い小売市場が拡大するアジア地域において食品流通事業の展開と構築を進めてきました。

今後も海外事業を成長戦略の一つとして位置づけ、より一層の事業展開の強化を図り、企業価値の向上に取り組んでいきます。



海外事業の展開

- 2007年 中国の食品卸事業に進出 (広州華新商貿有限公司に出資)
- 2009年 深圳華新創展商貿有限公司に出資
- 2011年 海外事業推進部を設置
- 2012年 海外食品卸事業に関する投資会社を設立 (加藤SCアジアインベストメント(株))
- 2013年 ベトナムの食品卸事業に進出 (Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.を設立)
- 2015年 シンガポールの食品卸事業に進出 (Naspac Marketing Pte. Ltd.を子会社化)
- 2016年 ベトナムの食品卸売企業を子会社化 (Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd. (TogiCo))
- 2018年 マレーシアの卸事業に進出 (Lein Hing Holdings Sdn. Bhd. を子会社化)
- 2018年 上海加産貿易有限公司を設立
- 2020年 マレーシアの卸売企業を子会社化 (Merison (M) Sdn. Bhd.)
- 2021年 ベトナムの食品卸売企業を子会社化 (Song Ma Retail Co., Ltd.)
- 2022年 マレーシアに地域統括会社を設置 (Kato Sangyo Malaysia Sdn. Bhd.)
- 2023年 ベトナムの食品卸売企業を子会社化 (Nam Khai Phu Service Trading Production Co., Ltd.)
- 2023年 シンガポールの食品卸売企業を子会社化 (Teo Soon Seng Pte. Ltd.)

物流事業 マンナ運輸(株) カトーロジスティクス(株)

製造事業 (株)グリーンウッドファクトリー 和歌山産業(株)